



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社椿本チエイン 上場取引所 東
 コード番号 6371 URL <https://www.tsubakimoto.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 隆利
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画室長 (氏名) 明坂 泰宏 (TEL) 06-6441-0054
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	206,610	5.0	15,863	10.5	18,374	13.9	14,952	25.0
2024年3月期第3四半期	196,806	7.6	14,349	4.0	16,132	3.2	11,964	9.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 15,478百万円(△42.5%) 2024年3月期第3四半期 26,899百万円(31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 143.06	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	109.58	—

(注) 当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 375,649	百万円 259,093	% 68.4
2024年3月期	391,298	260,559	66.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 256,867百万円 2024年3月期 258,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 —	円 銭 100.00	円 銭 160.00
2025年3月期	—	99.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	47.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年3月期(予想) 1株当たり期末配当金について

当社は2024年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、1株当たり年間配当金合計は「—」としております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年3月期予想の1株当たり期末配当金は141円、1株当たり年間配当金は240円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	278,000	4.2	22,200	4.4	24,000	2.3	21,000	13.2	201.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 2025年3月期の通期業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	111,244,179株	2024年3月期	111,244,179株
2025年3月期3Q	8,679,411株	2024年3月期	3,685,347株
2025年3月期3Q	104,520,990株	2024年3月期3Q	109,180,062株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではございません。

(株式分割後の配当及び業績予想について)

当社は2024年5月14日開催の取締役会において、株式分割について決議し、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、株式分割考慮前に換算した2025年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 2025年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 99円（注1） 期末 141円（注2）

2025年3月期の1株当たり年間配当金（株式分割考慮前）は240円となります。

2. 2025年3月期の通期の連結業績予想 1株当たりの当期純利益 期末 605円58銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式分割実施前の株式数に対して支払われます。

(注2) 株式分割考慮前に換算した配当額であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 当四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～12月31日)における世界経済は、中国経済が長引く不動産市場の調整により内需が低迷するなど厳しい状況が続いているものの、米国経済が底堅い個人消費を背景に好調に推移したほか、欧州経済もインフレ圧力の緩和を受け、持ち直しの動きが持続するなど緩やかな回復基調で推移しました。わが国経済についても、個人消費が雇用・所得環境の改善に伴い増加するなど、景気は総じて持ち直しの動きとなりました。

先行きについては、海外経済は物価および金利上昇圧力が緩和に向かい、個人消費や設備投資が底堅く推移することが期待されるものの、第2次トランプ政権の政策次第ではインフレの再燃や社会分断の深刻化が懸念されるなど、景気の下押し圧力が高まるリスクがあると見込んでおります。日本経済についても、実質賃金の上昇に伴う個人消費の増加に加え、デジタル化や脱炭素、人手不足解消を目的とした設備投資の拡大などが期待されるものの、海外経済の不確実性の高まりなどから緩やかな回復にとどまるものと想定しております。

このような状況ではありますが、当社グループは引き続き「中期経営計画2025」の到達点を見据え、資本コストを意識した各種施策を展開するとともに、モノづくりの強化や既存事業の収益力強化、持続的成長につながる新事業開発の推進等に注力してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は2,059億90百万円(前年同期比4.4%増)、売上高は2,066億10百万円(同5.0%増)となりました。

損益につきましては、営業利益は158億63百万円(同10.5%増)、経常利益は183億74百万円(同13.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は149億52百万円(同25.0%増)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

[チェーン]

チェーンにつきましては、日本、中国において販売が増加したことや、円安影響などにより、前年同期比で増収となりました。

チェーンの受注高は700億28百万円(前年同期比4.3%増)、売上高は700億90百万円(同1.1%増)となりましたが、日本における人件費の増加などにより、営業利益は113億49百万円(同6.3%減)となりました。

[モーションコントロール]

モーションコントロールにつきましては、米州、欧州、環インド洋、中国における販売が減少しましたが、日本、韓国・台湾での販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

モーションコントロールの受注高は167億57百万円(前年同期比7.2%増)、売上高は170億22百万円(同2.5%増)、営業利益は6億40百万円(同15.6%増)となりました。

[モビリティ]

モビリティにつきましては、米州、欧州、韓国における自動車エンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

モビリティの受注高は673億69百万円(前年同期比6.8%増)、売上高は676億98百万円(同7.5%増)、営業利益は58億95百万円(同11.0%増)となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、米州における金属切屑搬送・クーラント処理装置や自動車業界向けシステム、日本における物流業界向けや自動車業界向けシステムの販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

マテハンの受注高は498億62百万円(前年同期比0.9%増)、売上高は497億14百万円(同8.4%増)、営業利益は1億48百万円(前年同期は18億23百万円の営業損失)となりました。

[その他]

その他の受注高は19億72百万円（前年同期比3.3%減）、売上高は20億85百万円（同1.4%増）、損益につきましては6億55百万円の営業損失（前年同期は7億7百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して156億48百万円減少し、3,756億49百万円となりました。

流動資産は、電子記録債権が16億27百万円増加したこと、未収法人税等の増加などによりその他の流動資産が13億28百万円増加したこと、棚卸資産が4億47百万円増加した一方で、現金及び預金が152億24百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して115億38百万円減少し、1,943億14百万円となりました。

固定資産は、保有株式の売却などにより投資有価証券が33億1百万円減少したこと、有形固定資産が3億66百万円、無形固定資産が4億48百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して41億10百万円減少し、1,813億34百万円となりました。

(負債)

負債は、支払期間の短縮などにより電子記録債務が70億円減少したこと、借入金が35億78百万円減少したこと、未払法人税等が18億92百万円減少したこと、賞与引当金が16億30百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して141億83百万円減少し、1,165億55百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が79億68百万円増加したこと、為替の変動により為替換算調整勘定が39億29百万円増加した一方で、取得などにより自己株式が99億39百万円増加（純資産は減少）したこと、その他有価証券評価差額金が34億79百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して14億65百万円減少の2,590億93百万円となり、自己資本比率は68.4%となりました。

(3) 当四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して162億58百万円減少し、583億96百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は123億32百万円（前年同期は276億38百万円の増加）となりました。これは、仕入債務が79億97百万円減少したこと、法人税等の支払のために75億22百万円支出したこと、投資有価証券売却益を27億81百万円計上した一方で、税金等調整前四半期純利益を210億15百万円計上したこと、減価償却費を105億71百万円計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は89億24百万円（前年同期は76億19百万円の減少）となりました。これは、投資有価証券の売却による29億87百万円の収入があったこと、定期預金の払戻による25億98百万円の収入があった一方で、固定資産の取得のために87億26百万円支出したこと、定期預金の預入のために38億22百万円支出したこと、関係会社株式の取得のために20億94百万円支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は213億53百万円（前年同期は122億82百万円の減少）となりました。これは、自己株式の取得のために100億5百万円支出したこと、配当金の支払のために69億84百万円支出したこと、借入金が36億17百万円減少したことなどによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績ならびに現時点における見通しを勘案した結果、2024年10月31日に公表しました2025年3月期通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

通期連結業績予想数値の前提となる第4四半期の為替レートは、1米ドル=155円、1ユーロ=160円としております。

2025年3月期通期の連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2024年10月31日 発表)	274,000	20,000	22,000	20,000	192.25
今回修正予想(B)	278,000	22,200	24,000	21,000	201.86
増減額(B-A)	4,000	2,200	2,000	1,000	—
増減率(%)	1.5	11.0	9.1	5.0	—

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期通期連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しています。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の1株当たり当期純利益は、前回発表予想が576円75銭、今回修正予想が605円58銭となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,321	62,096
受取手形、売掛金及び契約資産	47,095	47,200
電子記録債権	20,255	21,882
有価証券	603	882
商品及び製品	26,217	25,544
仕掛品	16,959	18,793
原材料及び貯蔵品	14,980	14,267
その他	3,359	4,687
貸倒引当金	△938	△1,040
流動資産合計	205,853	194,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,534	33,834
機械装置及び運搬具（純額）	35,888	34,240
工具、器具及び備品（純額）	4,373	4,719
土地	38,533	38,583
建設仮勘定	5,612	7,197
有形固定資産合計	118,942	118,575
無形固定資産		
のれん	1,216	1,119
その他	7,688	7,337
無形固定資産合計	8,904	8,456
投資その他の資産		
投資有価証券	47,052	43,751
退職給付に係る資産	298	332
その他	10,354	10,325
貸倒引当金	△106	△106
投資その他の資産合計	57,598	54,302
固定資産合計	185,444	181,334
資産合計	391,298	375,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,592	18,134
電子記録債務	14,699	7,699
短期借入金	4,183	4,204
1年内償還予定の社債	—	5,000
1年内返済予定の長期借入金	5,801	1,579
未払法人税等	2,906	1,013
賞与引当金	6,133	4,503
工事損失引当金	179	96
株主優待引当金	46	—
営業外電子記録債務	2,809	2,639
その他	22,148	23,312
流動負債合計	77,499	68,182
固定負債		
社債	15,000	10,000
長期借入金	3,728	4,350
役員退職慰労引当金	144	150
退職給付に係る負債	12,497	12,894
資産除去債務	600	606
その他	21,267	20,369
固定負債合計	53,238	48,372
負債合計	130,738	116,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,582	12,598
利益剰余金	185,285	193,253
自己株式	△4,375	△14,315
株主資本合計	210,568	208,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,667	22,187
繰延ヘッジ損益	△61	△82
土地再評価差額金	△10,597	△10,597
為替換算調整勘定	31,991	35,921
退職給付に係る調整累計額	831	825
その他の包括利益累計額合計	47,831	48,254
非支配株主持分	2,159	2,226
純資産合計	260,559	259,093
負債純資産合計	391,298	375,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	196,806	206,610
売上原価	139,947	146,693
売上総利益	56,858	59,917
販売費及び一般管理費	42,509	44,053
営業利益	14,349	15,863
営業外収益		
受取利息	684	1,013
受取配当金	1,245	1,654
その他	895	859
営業外収益合計	2,825	3,527
営業外費用		
支払利息	216	206
為替差損	—	240
組織再編費用	289	—
その他	536	569
営業外費用合計	1,042	1,016
経常利益	16,132	18,374
特別利益		
受取和解金	1,259	—
投資有価証券売却益	1,192	2,781
特別利益合計	2,451	2,781
特別損失		
減損損失	597	21
投資有価証券評価損	502	—
関係会社株式評価損	178	118
特別損失合計	1,278	140
税金等調整前四半期純利益	17,305	21,015
法人税、住民税及び事業税	4,643	5,303
法人税等調整額	668	718
法人税等合計	5,311	6,021
四半期純利益	11,993	14,993
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,964	14,952

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	11,993	14,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,043	△3,479
繰延ヘッジ損益	68	△20
為替換算調整勘定	8,698	3,980
退職給付に係る調整額	60	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	34	11
その他の包括利益合計	14,905	485
四半期包括利益	26,899	15,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,701	15,375
非支配株主に係る四半期包括利益	197	103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,305	21,015
減価償却費	10,190	10,571
減損損失	597	21
のれん償却額	137	146
固定資産除売却損益 (△は益)	74	77
投資有価証券評価損益 (△は益)	502	72
関係会社株式評価損	178	118
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,192	△2,781
雇用調整助成金	△3	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△31	66
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	396	291
売上債権の増減額 (△は増加)	△35	△851
棚卸資産の増減額 (△は増加)	303	464
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,147	△7,997
その他	△407	△3,761
小計	31,165	17,455
利息及び配当金の受取額	1,974	2,622
利息の支払額	△217	△222
雇用調整助成金の受取額	3	—
法人税等の支払額	△5,287	△7,522
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,638	12,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,257	△3,822
定期預金の払戻による収入	1,202	2,598
投資有価証券の取得による支出	△618	△17
投資有価証券の売却による収入	1,332	2,987
関係会社株式の取得による支出	—	△2,094
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△20	2
長期貸付けによる支出	△11	△10
長期貸付金の回収による収入	12	12
固定資産の取得による支出	△7,367	△8,726
固定資産の売却による収入	107	144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,619	△8,924
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,140	△7
長期借入れによる収入	—	2,150
長期借入金の返済による支出	△269	△5,760
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△519	△710
配当金の支払額	△4,767	△6,984
非支配株主への配当金の支払額	△33	△35
自己株式の取得による支出	△4,552	△10,005
自己株式の売却による収入	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,282	△21,353
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,437	1,686
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,174	△16,258
現金及び現金同等物の期首残高	56,978	74,655
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,152	58,396

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,030,900株の取得を行っております。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が9,939百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が14,315百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	モーショ ンコ ント ロール	モビリ ティ	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	69,336	16,615	62,947	45,849	194,749	2,057	196,806	—	196,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,437	361	8	63	1,871	505	2,377	△2,377	—
計	70,774	16,976	62,956	45,912	196,620	2,563	199,183	△2,377	196,806
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	12,111	554	5,308	△1,823	16,151	△707	15,444	△1,094	14,349

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業、新規事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,094百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,102百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「マテハン」セグメントで減損損失を472百万円、報告セグメントに配分されていない減損損失を124百万円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	モーショ ンコ ント ロール	モビリ ティ	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	70,090	17,022	67,698	49,714	204,525	2,085	206,610	—	206,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,463	331	10	149	1,955	641	2,596	△2,596	—
計	71,553	17,354	67,708	49,863	206,480	2,726	209,206	△2,596	206,610
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	11,349	640	5,895	148	18,033	△655	17,377	△1,514	15,863

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業、新規事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,514百万円には、セグメント間取引消去30百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,545百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「モビリティ」セグメントで減損損失を21百万円計上しております。